

市民委員会資料①

所管事務の調査（視察）

（１）映像のまち推進事業について（日本映画大学）

資料１ 映像によるまちづくりの推進

資料２ 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム リーフレット

資料３ 日本映画大学 ガイドブック

資料４ F U L L S I Z E vol.4

市民・こども局

（平成２４年１１月７日）

市民委員会資料②

所管事務の調査（視察）

（１）映像のまち推進事業について（川崎市アートセンター）

資 料 川崎市アートセンター パンフレット

市民・こども局

（平成２４年１１月７日）

映像によるまちづくりの推進

[実行計画] 基本政策Ⅳ-1-(4) 地域資源を活かした魅力づくり

○映像関連の民間等の動きとの連携により、本市の魅力を発信し、映像を核としたまちづくりを推進

- ▶市内にある豊富な映像関連の地域資源…日本映画大学、4つのシネコン、アートセンター、市民ミュージアム、映像関連事業者等
- ▶「映像のまち・かわさき」推進フォーラムと連携したまちづくり
- ▶本市の魅力を市内外にアピール

○「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

▶発足 平成20年7月

▶基本目標

川崎市内の恵まれた映像資源によって営まれる様々な映像関連活動及びそれら活動の参加者のネットワークの形成並びに映像教育・人材育成の取組を支援するとともに、相互に連携し、川崎の魅力を効果的に発信することで、まちの魅力を高めるとともに、映像文化の振興及び映像産業の発展並びに次世代の映像文化を担う子どもたちの育成を目指す。

▶会長 川崎商工会議所会頭

▶顧問 川崎市長、川崎市議会議長ほか

▶活動の四つの柱

- ① 映像にかかわる人材育成と映像を通じた教育
- ② 地域経済の活性化と新たな産業機会の創出
- ③ 地域と連携したまちづくり
- ④ 情報発信

▶主な取組

小学校での映像制作活動支援、毎日映画コンクール表彰式関連イベント企画実施、全体交流会開催、ホームページ運営等

○日本映画大学

・沿革

- 昭和 50 年 4 月 今村昌平映画監督が「横浜放送映画専門学院」を開校
- 昭和 60 年 4 月 「日本映画学校」に改称
- 昭和 61 年 4 月 新百合ヶ丘駅前に移転
- 平成 23 年 4 月 「日本映画大学」開学

・特徴

- ・日本で唯一の映画の単科大学
- ・看板授業「人間総合研究」 入学後すぐに体験する実践的演習

・入学者数

- ・平成 23 年 4 月 166 名
- ・平成 24 年 4 月 148 名

・校舎等

- ・所在地 川崎市麻生区白山 2 丁目 1 番 1 号
- ・敷地面積 17,462.44 m²
- ・建築面積合計 2,564.87 m²
- ・延床面積合計 5,230.24 m²
- ・白山小学校の跡地活用
 - 建物：売却 128,100,000 円 （平成 22 年 3 月 18 日議決）
 - 土地：33 年間の貸付 賃料年額 17,340,000 円

・「映像のまち・かわさき」推進フォーラム副会長

・地域との連携

- ・KAWASAKI しんゆり映画祭への協力
 - ジュニア映画制作ワークショップの指導者派遣、機材貸与
- ・麻生区役所との連携事業
 - 小学生とその保護者を対象とした映画撮影・制作体験事業
 - 参加者 平成 23 年度 57 人 24 年度 57 人

・市との連携（協定書等）

- ・跡地活用の公募に係る事業提案の実施に関する確認（22.3.15）
- ・施設やグラウンド等を災害時の避難所として使用（22.4.1）
- ・グラウンド・体育館等の地域開放（23.4.1）
- ・市と映画大学相互の協力事項の確認（23.11.1）
 - 映画大学：市内教育現場での映像を通じた教育の協力 等
 - 市：市の施設を映画大学の撮影実習のために使用に供する 等
- ・アートセンター指定管理者（24.4.1）
 - 川崎市文化財団グループ（JV）の構成員